

『リネージュII』の冒険に役立つ基本的な知識とノウハウ、ゲームを楽しむための秘訣を解説します。



## STEP 1 冒険に旅立とう

モンスターを倒して経験値を積み、キャラクターをレベルアップさせて、より強力なジョブに転職する……これが『リネージュII』の基本です。しかし、ただやみくもに敵と戦うよりも、下記

で説明する冒険の知識とノウハウを活用すれば効率よく経験値や通貨（アデナ）を稼ぐことができます。結果的にスムーズにキャラクターを育成することができるでしょう。

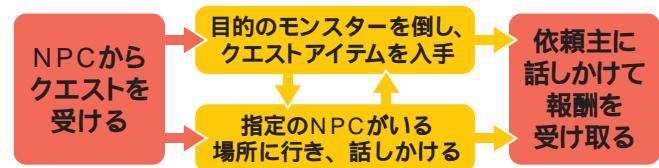
### クエストにチャレンジしよう

NPC（ノンプレイヤーキャラクター）の中には、プレイヤーに対して届け物やモンスターの討伐といった依頼をしてくる者もいます。これらの依頼を「クエスト」と呼び、依頼を達成することで通貨であるアデナ、アイテム、経験値といったさまざまな報酬を受けられます。また、キャラクターの転職に必要なアイテムがもらえる重要なクエストもあります。クエストを受けるには、特定のNPCに話しかけて「クエスト」の項目をクリックしてください。クエスト画面に従って依頼をこなし、達成したことを依頼主に報告すればクエストの完了となります。



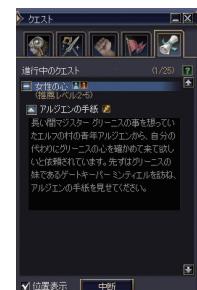
頭上に「！」マークが表示されているNPCに話しかけると、レベルに応じたクエストが依頼されます。複数回受けられるクエストを繰り返しプレイするだけでも、効率よく経験値や資金を稼ぐことができます。

#### クエストの流れ



#### クエスト情報の確認

クエストには繰り返し受けられるものと、達成すると二度と受けられないものがあります。また、依頼を受けるのにレベルの制限が設けられているものもあります。依頼を受けたクエストの内容や目的地を忘れてしまったときは、基本メニュー（インベントリ）のキャラクター情報の中にあります。クエスト画面から確認することができます。



### スキルを覚えよう

スキルとはいわゆる特技のことで、強力な攻撃を繰り出したり、HPを回復するといった効果があります。スキルは戦闘をしてSP（スキルポイント）をため、村にいるNPCに話しかけることで習得できます。なお、スキルにはプレイヤー自身が使用するアクティブスキルと習得するだけで常に効果を発揮するパッシブスキルがあり、前者は一度使用するとスキルアイコンが再点灯するまで使用できません。

#### 主なスキルの系統

スキルの系統	効果
アクティブスキル	物理攻撃系スキル
	武器による物理攻撃を強力な一撃に変化させる。ただし、武器の種類によっては発動できないものもある。
	魔法攻撃系スキル
	火の玉や風の刃などの魔法で敵を攻撃する。多くは7つある魔法属性のいずれかに属している。
	回復系スキル
	減少したHPを回復させたり、異常状態を治癒する。
パッシブスキル	補助系スキル
	攻撃力や移動速度などを一時的に高める強化系のスキル。効果はスキルによってさまざま、自分のみに効果があるものと、他のプレイヤーや複数の対象に効果があるものなどがある。
	異常状態スキル
	敵を異常状態にさせるスキル。戦闘の補助的な役割として使用する場合がほとんど。
	召喚系スキル
通常パッシブ系	召喚獣を呼び出して戦わせる。ただし、このときに獲得した経験値は一部召喚獣のものとなる。
	習得することで常に効果が発揮されるスキル。
マスター系	特定の装備品を装備することで効果を発揮するスキル。

#### 重量ペナルティについて

アイテムは、基本メニュー（インベントリ）のスロット分だけ持つことができます。スロットはドワーフが100個、その他の種族が80個です。ただし、総重量が一定値を超えるとペナルティを受けるので注意しましょう。



#### 重量ペナルティについて

アイテム総重量が50%以上	HPとMPの自然回復速度が約半分になる。
アイテム総重量が66.67%以上	移動速度が通常時の約半分になる。
アイテム総重量が80%以上	移動速度が総重量66.67%の時よりもさらに遅くなる。

アイテム総重量はインベントリの一番下にあるバーで確認できます。

#### 初心者特典を利用しよう

初心者キャラクターは特定のクエストで「初心者用 ノングレード ソウルショット」や「初心者用 ノングレード スピリットショット」がもらえます。また、レベル8~24の間は、各種族の村などにいる初心者案内人から一時的にキャラクターを強化する補助魔法が受けられます。

#### ゲートキーパーによる移動が便利

村には、「ゲートキーパー」と呼ばれるNPCがいます。彼らに手数料を支払えばゲートキーパーごとに決められた場所にテレポートできます。便利な移動手段なので見かけたら活用しましょう。



初めての村では、ゲートキーパーの位置を確認しておきましょう。